

京都市国際化推進プランの総括



令和3年2月8日（月）
京都市総合企画局国際化推進室

京都市国際化推進プランについて

1 京都市国際化推進プランの策定，目的

<プラン策定までの流れ>

昭和53（1978）年 「世界文化自由都市宣言」



平成2（1990）年 「京都市国際交流推進大綱」



平成9（1997）年 「京都市国際化推進大綱」



平成20（2008）年

「京都市国際化推進プラン～多文化が息づくまちを目指して～」

<プラン策定の目的>

- 平成29（2017）年度までの10年間で，本市における国際化を更に発展させ，住む人にとっても，訪れる人にとっても魅力的で輝かしい国際都市にする。
- そのための基本的な考え方や目標，取り組むべき内容を明らかにする。

京都市国際化推進プランについて

＜プランに掲げる3つの目標＞

世界がときめくまち・京都
～「おもてなし」のまち・京都の魅力の向上と発信～

【具体的な推進内容】

- ・国際観光都市, 歴史都市, 文化芸術都市, 環境先進都市, 国際ビジネス拠点, 国際学術都市としての魅力向上
- ・内外メディアからの情報発信

世界とつながるまち・京都
～市民主体の国際交流・国際協力の推進～

【具体的な推進内容】

- ・友好都市との市民交流
- ・青少年を対象とした国際事業交流の実施
- ・国際経験のある人材の活用
- ・留学生と市民との交流促進

多文化が息づくまち・京都
～外国籍市民をはじめとするすべての人々が暮らしやすく, 活躍できるまちづくりの推進～

【具体的な推進内容】

- ・新規転入者への情報提供
- ・医療通訳派遣事業などの充実
- ・災害時の情報提供
- ・民族や国籍による差別を許さないまちづくり

京都市国際化推進プランについて

2 京都市国際化推進プランの改訂と計画期間の継続

＜プランの改訂＞

平成25（2013）年に計画期間の中間点を迎えたことから、当時の社会状況の変化を踏まえ、プランの改訂版を策定。

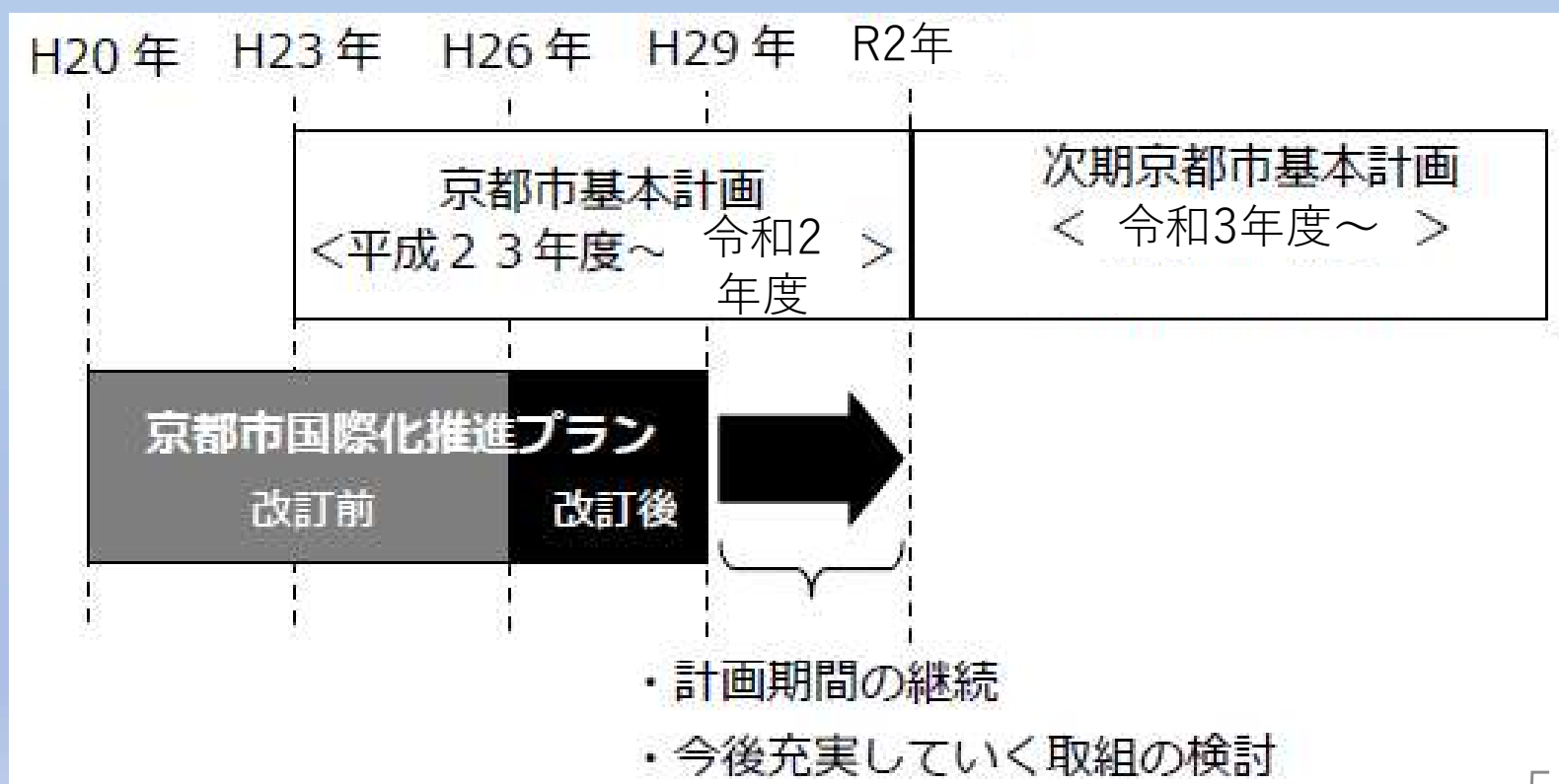
【当時の主な社会状況の変化】

- ①国際情勢の変化，とりわけアジア近隣諸国との関係の変化
⇒ 都市レベル，市民レベルでの友好関係の構築がより重要に！
- ②東日本大震災の発生（2011（平成23）年）と，防災意識の高まり
⇒ 外国人観光客，外国籍市民等を含めた安心・安全のまちづくりを推進！
- ③東京オリンピック・パラリンピック，関西ワールドマスタースゲームズ2021などの開催
⇒ 国際文化観光都市としての戦略的取組を強化！
- ④ソーシャルメディアの普及，情報通信技術の更なる発展
⇒ これらを積極的に活用し，情報発信！

京都市国際化推進プランについて

＜プランの計画期間の継続＞

平成28年度に、プランの計画期間を京都市基本計画の計画期間の始まりと合わせるため、**令和2（2020）年度まで継続**（当初は、平成29（2017）年度まで）することとした。



京都市国際化推進プランについて

＜平成29（2017）年度以降の新たな取組とその背景＞

①京都の都市格向上，文化を基軸とした国際化に関する取組
＝（プランの目標）世界とつながるまち・京都

【背景】文化庁の京都への全面的な移転の決定

②外国籍市民等の増加を踏まえた多文化共生のまちづくりに関する取組
＝（プランの目標）多文化が息づくまち・京都

【背景】人口減少社会の到来と外国籍住民（留学生，永住者）の増加

③外国人観光客の増加を踏まえた取組
＝（プランの目標）世界がときめくまち・京都

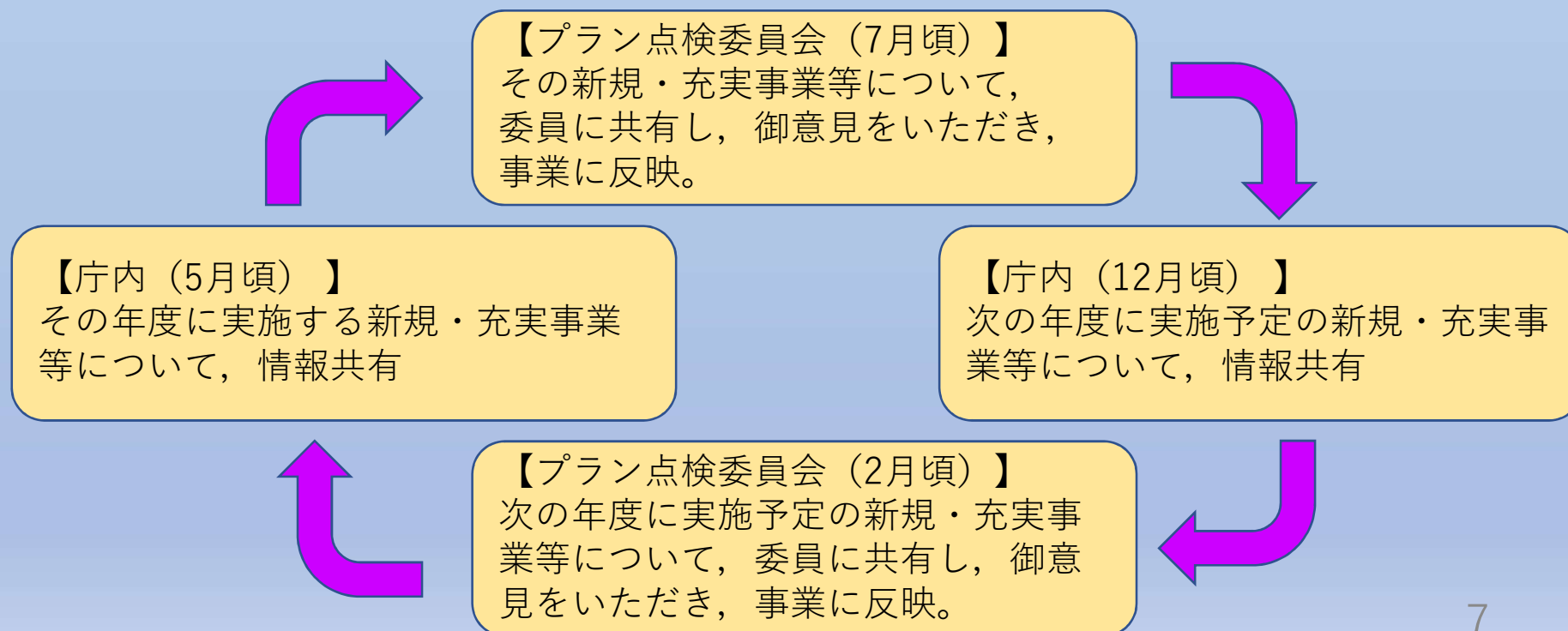
【背景】京都を訪れる外国人観光客数の急増

⇒ 平成29年度には，プラン改訂版に掲げる268事業はすべて完了，着手済み！

京都市国際化推進プランについて

3 平成30（2018）年度以降のプラン点検委員会での取組

プランに掲げる3つの目標に沿った本市の新規・充実事業について、プラン点検委員会で情報共有し、それらに対し、委員から御意見をいただき、国際事業の実施や次年度事業の形成に反映する。



京都市国際化推進プランについて

＜委員の御意見が本市の事業等に反映された主な事例①＞

【御意見】（平成29年度）

- ・ 教師の負担を減らすとともに、外国にルーツがある子ども達へのサポート等を充実してほしい。



【本市の取組】

- ・ 「日本語を母語としない保護者のための小学校生活スタートガイド」の発行。



京都市国際化推進プランについて

＜委員の御意見が本市の事業等に反映された主な事例②＞

【御意見】（平成30年度）

- ・災害時の緊急速報の多言語化をお願いしたい。



【本市の取組】

- ・今年3月に、本市防災ポータルサイト「京都市防災危機管理情報館」のシステムを改修し、自動翻訳機能を追加することで、災害に関する避難情報の多言語化を行うことになりました。

The screenshot displays the Kyoto City Disaster Management Information Center website. At the top, there is a header with the site's name in Japanese and English, along with navigation links for site maps and language options (English, Chinese, Korean, Japanese). A prominent message states that the city is currently in a normal state and no disaster warnings are being issued. Below this, a navigation bar includes links to the top, disaster management policies, safety information, disaster support, disaster library, and disaster maps. A search bar and social media icons are also present. The main content area features a 'J-ALERT' section with a warning about emergency information and a 'お知らせ' (Notice) section containing updates on disaster response manuals and COVID-19 related information. A calendar for January 2021 is visible on the left, and a sidebar on the right lists various disaster-related services and maps.

京都市国際化推進プランについて

＜委員の御意見が本市の事業等に反映された主な事例③＞

【御意見】（平成30年度）

- ・市で作成するパンフレット等の多言語対応については、単に日本語を翻訳するのではなく、いかに伝わりやすいものをつくるかが大事である。専門の広報チームなどを作ることはできないか。



【本市の取組】

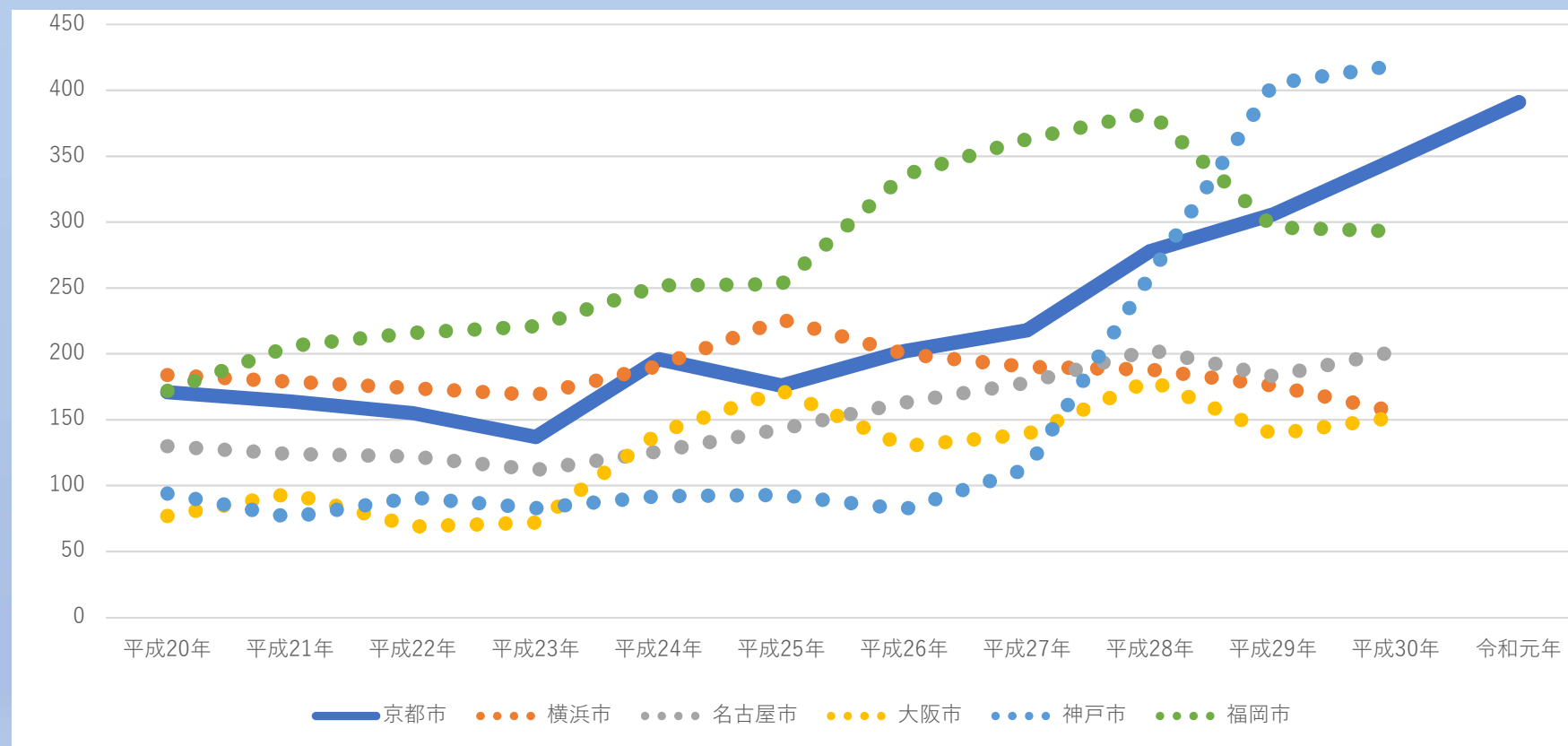
- ・令和元年度以降、国際化推進室において、「多言語情報発信サポート事業」を実施し、市民向け刊行物の企画段階から在住外国人の意見を積極的に取り入れ、外国人目線での分かりやすい刊行物の作成に取り組んでいる。

本市の国際化を推進してきた中での主な成果について

約2.3倍!

1 京都市域での国際会議の開催

【平成20（2008）年】171件 ⇒ 【令和元（2019）年】391件
…他都市と比較しても、京都市の件数は着実に増加している。



本市の国際化を推進してきた中での主な成果について

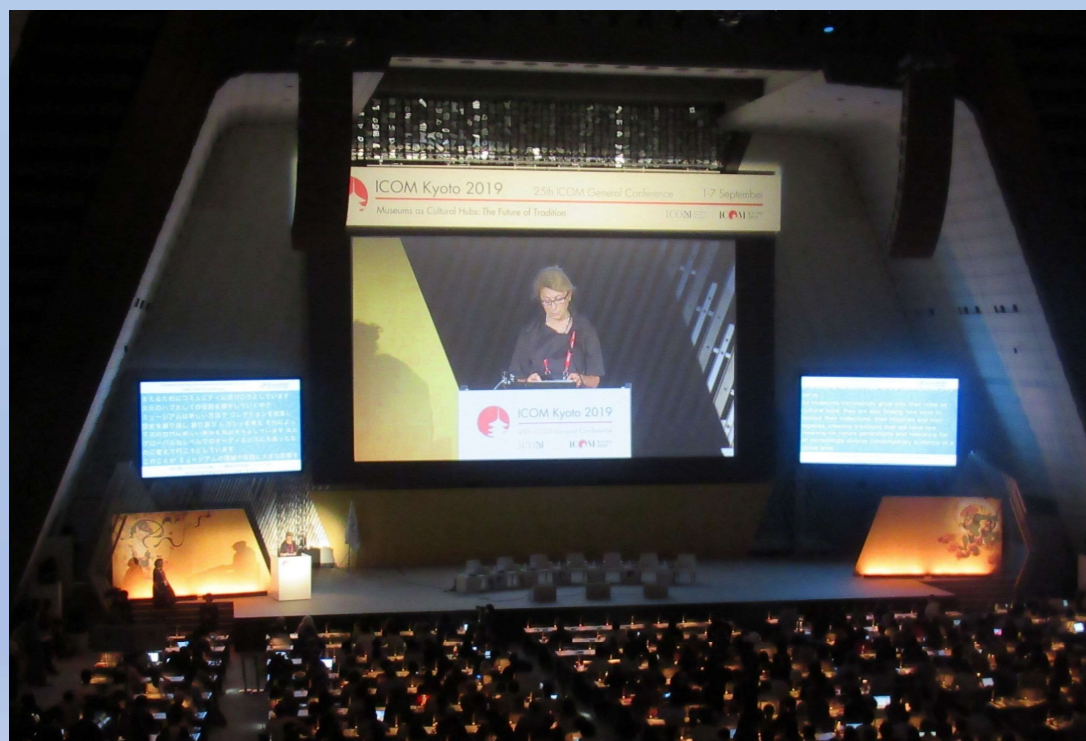
＜直近の主な国際会議＞

①第25回ICOM（国際博物館会議）京都大会【令和元（2019）年】

【概要】世界の博物館の進歩・発展を目的とした国際会議

【参加者数】4,590人（海外2,724人，国内1,866人）

【場所】国立京都国際会館他



本市の国際化を推進してきた中での主な成果について

＜直近の主な国際会議＞

②第4回国連世界観光機関（UNWTO）／ユネスコ 観光と文化をテーマとした国際会議【令和元（2019）年】

【概要】「将来世代への投資 観光×文化×SDGs～」をテーマに、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて観光と文化の力をどう活用するかなどについて、議論がなされ、今後の各国・地域における、観光と文化に関する取組指針「観光・文化京都宣言」が成果として取りまとめられた。

【参加者数】約1,500人（2日間延人数）

【場所】国立京都国際会館



閣僚級出席のハイレベル会合



京都市長による特別講演

本市の国際化を推進してきた中での主な成果について

- 2 世界歴史都市連盟加盟都市
【平成20（2008）年】78都市，52カ国
⇒【令和元（2019）年】119都市，66カ国・地域

約1.5倍!



第16回会議 in ブルサ（トルコ）

世界歴史都市絵本展



本市の国際化を推進してきた中での主な成果について

3 パートナーシティ

【平成20（2008）年】1都市 ⇒ 【令和元（2019）年】6都市

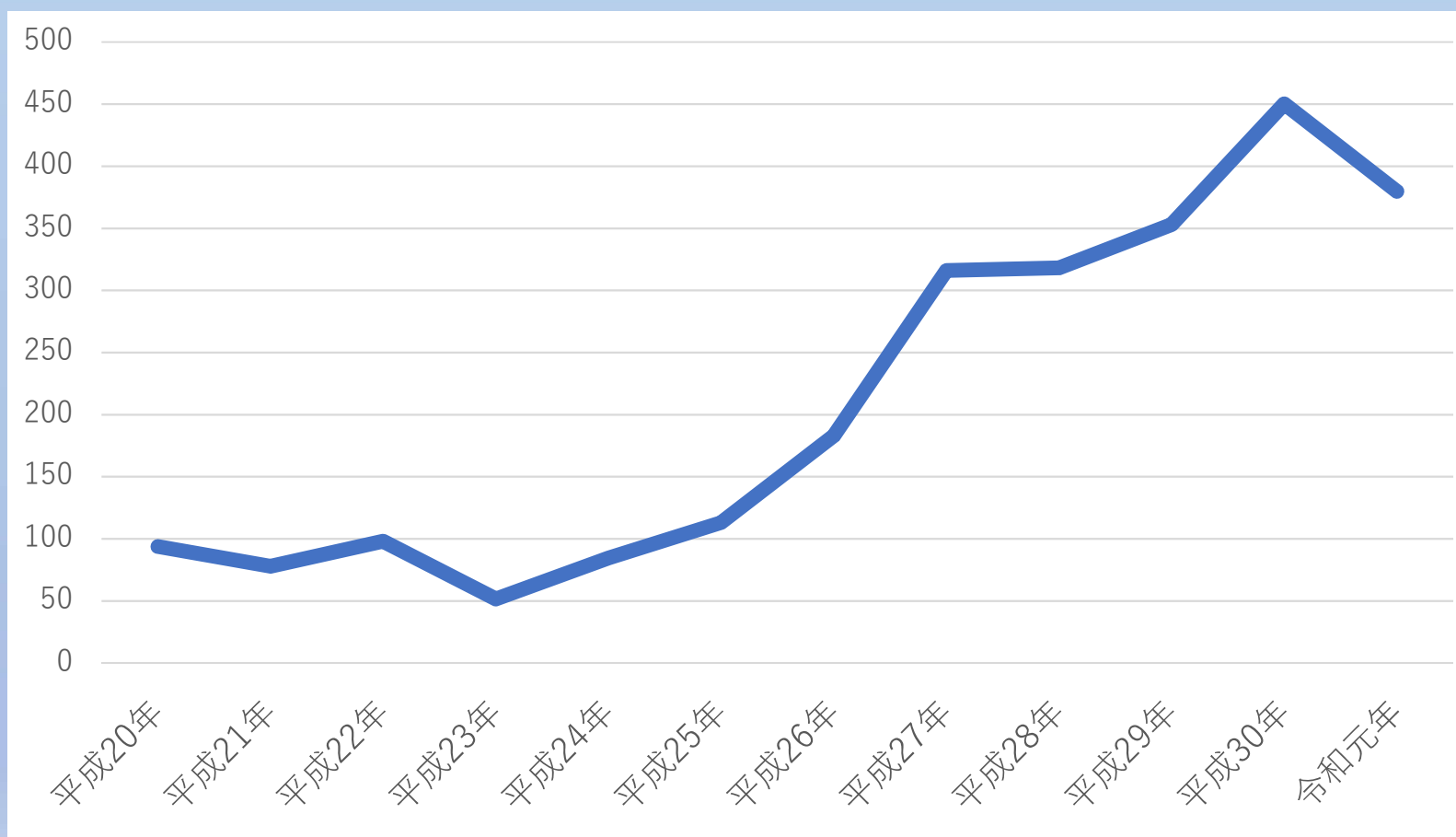
No.	都市名（国名）	提携年	交流分野
1	晋州市 （大韓民国）	平成11（1999）年	学術研究・教育
2	コンヤ市 （トルコ共和国）	平成21（2009）年	文化・芸術
3	青島市 （中華人民共和国）	平成24（2012）年	経済，環境，文化， スポーツ，教育
4	フエ市 （ベトナム社会主義共和国）	平成25（2013）年	学術，教育，福祉
5	イスタンブール市 （トルコ共和国）	平成25（2013）年	学術研究・教育
6	ビエンチャン特別市 （ラオス人民民主共和国）	平成27（2015）年	学術研究

本市の国際化を推進してきた中での主な成果について

4 年間外国人宿泊客数

【平成20（2008）年】93.7万人⇒【令和元（2019）年】379.9万人

約4.1倍!



本市の国際化を推進してきた中での主な成果について

約9,200人増!

5 外国籍の住民基本台帳登録者数

<総数>

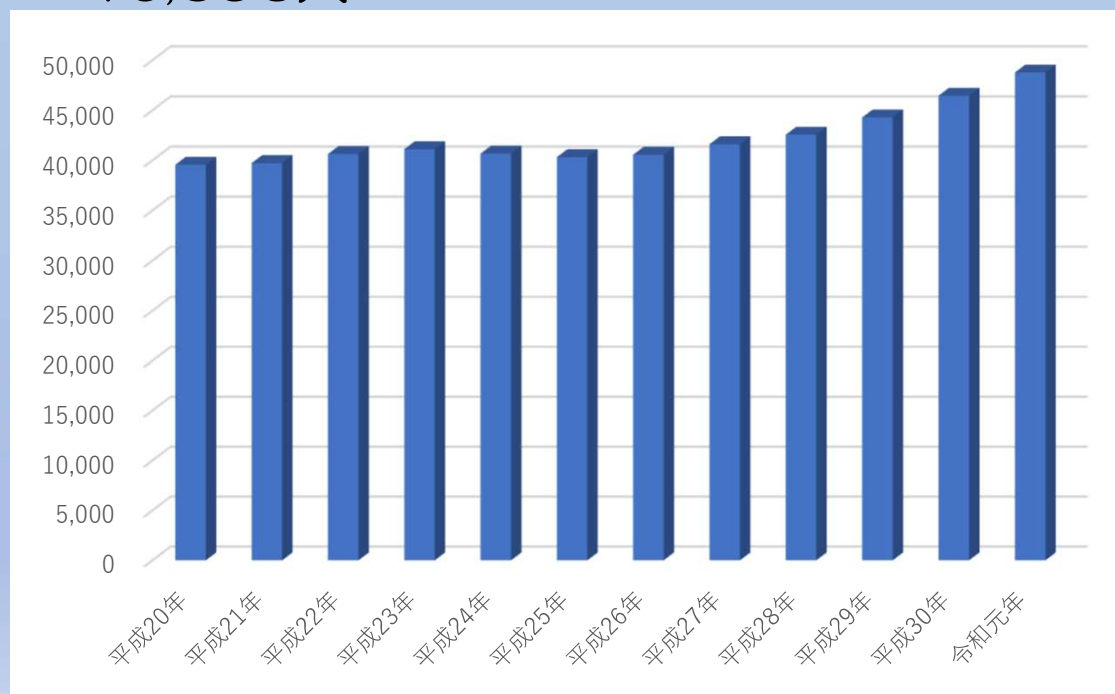
【平成20（2008）年】39,570人⇒【令和元（2019）年】48,773人

<うち、永住者数>

3,913人 ⇒ 5,935人

<うち、留学生>

4,688人 ⇒ 10,696人



本市の国際化を推進してきた中での主な成果について

6 「100のレジリエント・シティへの選定」と、 「国内都市SDGs先進度1位（令和元（2019）年）」

<100のレジリエント・シティ>

- ・アメリカ合衆国のロックフェラー財団が、「レジリエンス戦略」を備えた都市の国際的ネットワークを目指し、2013年～2015年の3ヶ年で、世界100都市を募集。
- ・世界から1,000都市以上が応募し、日本では京都市と富山市が選定！

<国内都市SDGs先進度1位（令和元（2019）年）>



「SDGs先進度」総合ランキング(1～5位)

順位	市区名	総合計
1	京都市	70.37
2	北九州市	70.13
3	宇都宮市	68.82
4	豊田市	68.57
5	岡山市	68.53

国際的な事業を展開するうえで考慮すべき、 本市をとりまく情勢の変化

国内における人口減少
，近隣諸国の経済成長

新型コロナウイルス感
染症の世界的流行

国際交流団体における
若い世代の担い手不足

外国籍市民の国籍や
文化的背景の多様化

出入国管理及び難民認
定法の改正
【平成30（2018）年】

今後の「課題」へ

今後の課題

- ① 世界から訪れたいまち，住みたいまち，働きたいまちとして選ばれる都市でありつづけるための環境整備
- ② 文化交流に加えて政策交流や経済交流を意識した都市間交流の展開
- ③ 外国籍市民等が安心して暮らせる環境の整備

京都市国際戦略ビジョンに
基づき，取り組んでいく！